

八幡西区のまちづくりについて

八幡西区は今後、どのようなまちになるうとしているのでしょうか。八幡西区のまちづくりについて、5つの柱と具体的な取り組みで紹介します。八幡西区の未来に向かって、住民の皆様と一緒に、新たなまちづくりに挑戦していきたいと考えています。

北九州市基本構想・基本計画 「元気発進! 北九州」プラン

▶まちづくりの目標

人と文化を育み、世界につながる、環境と技術のまち

▶目標年次

基本計画の目標年次は、2020年度(平成32年度)とします。

北九州市都市計画マスタープラン 「八幡西区構想」

▶策定の目的

八幡西区のまちづくり方針は、都市計画の視点から、八幡西区にふさわしいまちづくりの将来のビジョンや協働による取組の方向について明らかにしていくことを目的に策定しています。(平成22年3月策定)

▶目標年次

おおむね20年先を展望して策定しています。

八幡西区の将来像

にぎわいと活力を創生し、暮らし・産業・自然が調和した
郷土愛に満ちた歴史と交流のまち

～街のにぎわいと産業や大学を中心とした活力にあふれ、
交通の要衝として栄えた歴史や豊かな自然を守り、新たなまちづくりに挑戦するまち～

▶計画期間及び運営方針

◆計画期間

平成26年度から概ね5年間

◆計画の運営方針

区独自の事業及び区に関係した重要な事業の進捗状況を、区役所と関係部局との連携を密に図ることにより、計画の進捗を検証するとともに確実な計画の実現を目指します。

八幡西区のまちづくりの課題

- ①拠点地区などの機能充実・強化
- ②交通対策
- ③多様な産業の振興
- ④少子・高齢化への対応
- ⑤自然的環境の保全と活用
- ⑥地域の伝統文化・行事を活かしたまちづくりへの取組
- ⑦古くから形成された住宅地の人口減少や高齢化の進展
- ⑧既存集落の生活環境の維持・活性化

まちづくりの5本の柱

- 1 産業振興を図り、にぎわいと活力のある、多くの人が集まり交流するまちをつくる
- 2 街なかに多くの人々が住み続け、子どもから高齢者までだれもが安全に安心して暮らせるまちをつくる
- 3 長崎街道などの歴史や学術・文化に触れ、多くの人々が夢をはぐくみ、訪れたいまちをつくる
- 4 山や川など豊かな自然を活かし、水と緑の潤いを感じられるまちをつくる
- 5 住民が主体の、参加と協働によるまちづくりを進める

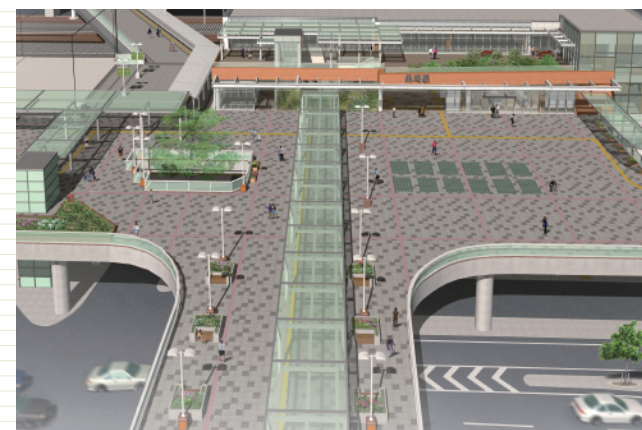
1 まちづくりの5本の柱

産業振興を図り、にぎわいと活力のある、多くの人が集まり交流するまちをつくる

黒崎副都心や折尾地区では、多様な都市機能の強化により、さまざまな人々が集まり、交流し、情報・文化を発信するにぎわいあるまちづくりを進めています。また、幹線道路の整備や公共交通の充実などによる交通ネットワークの形成や、訪れる人が歩きたいと感じる魅力ある歩行空間の整備を進め、にぎわいと交流を創出し、回遊性のある都市空間づくりを進めています。

黒崎駅前のにぎわいづくりの推進

JR黒崎駅南口ペDESTリアンデッキのルーフ整備を推進するとともに、JR黒崎駅の南北連携強化を図るため、北口の駅前広場と南口のペDESTリアンデッキを結ぶ自由通路の整備を進めます。



▲黒崎駅南側イメージ図

折尾地区総合整備事業

JR折尾駅周辺の鉄道立体化による踏切の除去、幹線道路整備や土地区画整理事業を総合的に実施し、交通渋滞の解消や住環境の改善、まちの一体化、回遊性の向上などを図ります。



▲立体交差のイメージ：折尾駅の北側から南向きに国道3号方向を見る

国道3号黒崎バイパス

全長5.8km、片側二車線の自動車専用道路である黒崎バイパスについて、未整備箇所である黒崎西ランプ及び陣原オンランプの早期整備を国に要望し、黒崎地区の渋滞解消や地域産業の振興を図ります。



▲国道3号黒崎バイパス(黒崎駅付近)

商店街賑わいづくり スタート支援事業

商店街が実施する賑わいづくりのためのイベント、ガイドマップ作成等の情報発信、共同宅配事業などについて、立ち上げ時の経費の一部を補助することで、商業の活性化や商店街の魅力アップを図ります。



▲くまで歴史街道市

北九州ひとみらい プレイス事業

人づくりに関わる各種施設が連携して、若者の成長支援、あらゆる世代の学びの充実、さまざまな団体の活動支援、すべての住民の交流促進に取り組むとともに、副都心黒崎のにぎわい創出を目指します。



▲子どもの探検隊